

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2  
発達段階に応じた教育の振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課健康づくり推進室長 日野久美 電話番号 0852-22-5425

事務事業の名称	健康教育推進事業	
目的	(1) 対象	養護教諭、健康教育担当者（養護教諭、保健主事等）
	(2) 意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>養護教諭、保健主事の研修を行い、しまねっこ元気プラン（第2次）を周知し、児童生徒の健康課題の解決を進める。</li> <li>学校保健及び学校安全に関して児童生徒の健康課題の解決に向けて取り組む。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>養護教諭に対して現職研修や、専門研修を実施し、資質向上を図る。</li> <li>健康教育全般及び学校保健に関する見識を深めることにより、保健主事としての資質向上を進める</li> <li>学校保健及び学校安全に関して多大なる功績を残した被表彰者を審査会により表彰する。</li> <li>しまねっこ元気プラン（第2次 H26年～H30年）に基づく健康教育に係る状況を把握する。今年度は5カ年計画の最終評価の年度である。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	学校保健委員会の設置率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	県内の学校保健委員会を設置している学校数/県内の学校数	取組目標値						
			実績値	89.6	90.3	95.7			
			達成率	-	90.3	95.7	-	-	%
2	指標名	学校保健委員会の開催率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	学校保健委員会を開催した学校数/県内の学校保健委員会を設置している学校数	取組目標値						
			実績値	90.4	91.3	88.6			
			達成率	-	91.3	88.6	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	4,885	4,043
うち一般財源 (千円)	4,465	4,043

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・がん教育や性に関する指導など現代的健康課題に対応した研修及び養護教諭の職務研修を実施している。  
 ・学校保健委員会の設置率は上がったが、学校保健委員会の開催率は下がり、校種別にみると、小学校91.1%、中学校84.7%、高等学校84.6%、特別支援学校91.7%である。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・保健主事等に学校保健に関する最新の情報やデータ、あるいは文部科学省からの通知や法的根拠を示したりすることで、マネジメントの意欲向上につながった。受講者の評価が、受講前よりも0.5～0.8ポイント伸びている。  
 ・グループワークを取り入れた研修を行うことで、養護教諭同士の学びあいが深まった。

・健康教育（学校保健）研修及び養護教育研修において、課題の解決には学校・保護者・学校医等の関係機関と連携しながら進める学校保健委員会が重要であることを伝えた。その結果、小学校、中学校の学校保健委員会の設置率上昇につながった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- がん教育など現代的な諸課題に対応する研修を2年間行ったが、学校に浸透していない。がん教育の実施率 小学校 29.1% 中学校 50.0% 高等学校 46.2%
  - 学校保健委員会の開催率が下がっている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 学校保健委員会の推進役である保健主事の役割が明確に位置づけられていない学校があり、体制が整っていない。
  - 養護教諭が保健主事を兼ねている学校では、養護教諭一人に学校保健の推進役が任せられ、組織の運営等の負担が大きい。
- ③原因を解消するための「課題」
- 養護教諭の専門性を高めるためには、専門分野の講師を招聘する必要がある。
  - 島根県全体の健康課題や、養護教諭の抱える執務上の課題をアンケートで把握する。
  - 健康教育研修、管理職を対象とした研修等を通して、保健主事を中心とした健康教育推進体制の整備について理解を図る。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・しまねっこ元気プラン（第2次 H26～H30年）の調査結果を30年度内に分析し、31年度当初に、しまねっこ元気プラン改訂検討委員会を立ち上げる。31年度内にしまねっこ元気プラン（第3次）の5カ年計画を作成し31年度末に県内の学校及び関係機関等に周知する。周知するためには、冊子及び概要版を県内に広く配布する。  
 ・新学習指導要領に対応したがん教育が県内全体にはまだ浸透してない。H31年度は、がん教育総合支援事業（文部科学省）を受けて、がん教育について推進する。  
 ・各市郡・地区高等学校の学校保健主事会などの様々な機会をとらえて、学校保健活動の進め方等について助言し、学校保健計画や学校保健委員会の設置や活動について確認、指導・助言する。